



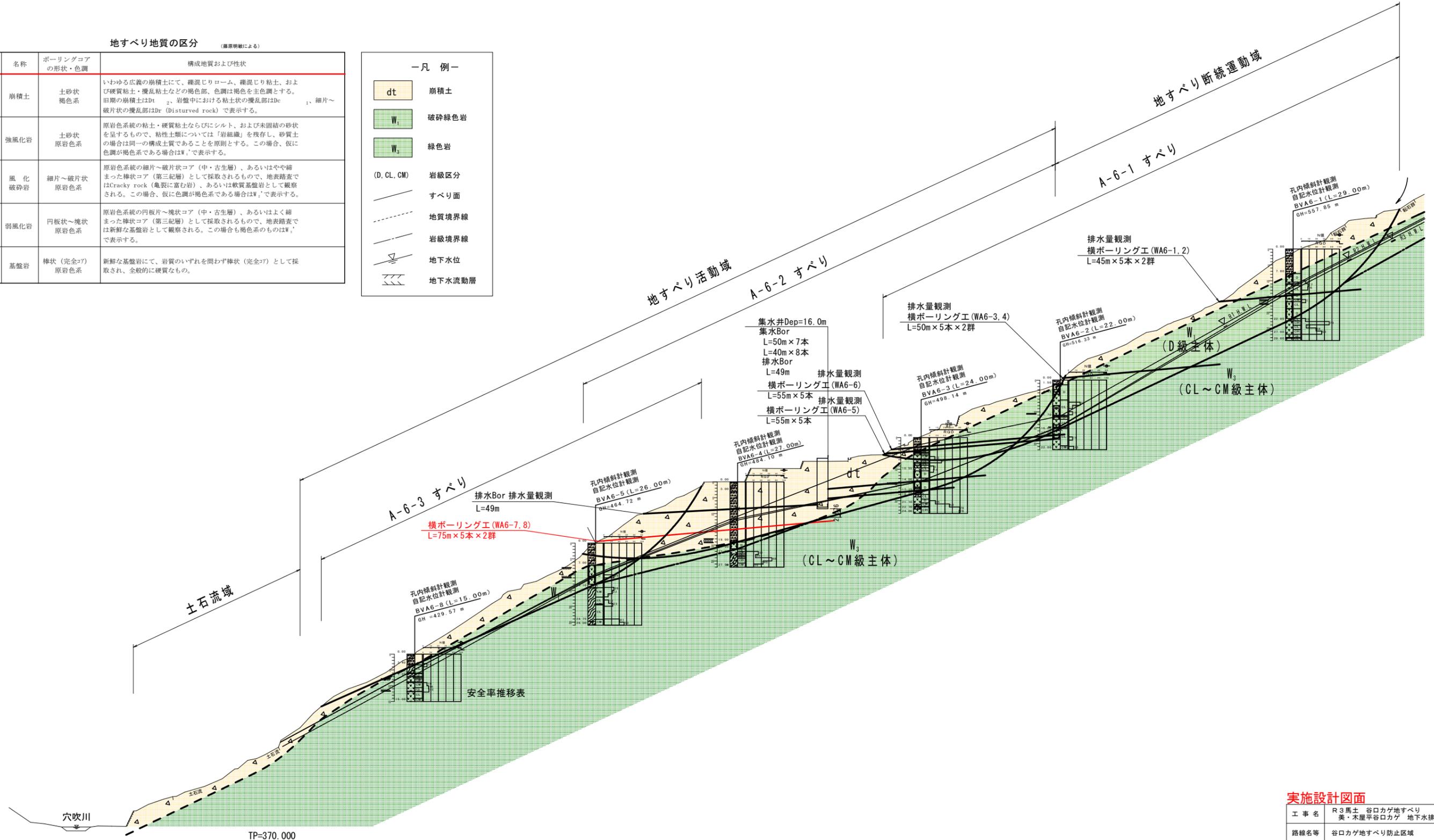
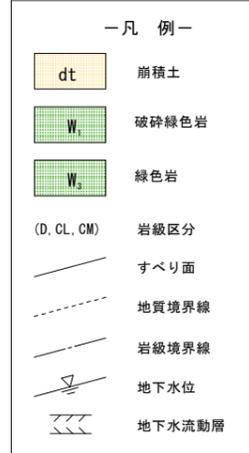
実施設計図面

工事名	R3馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地下水排除工事 (1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
工事箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	平面図		
縮尺	1:500	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

谷口カゲ A-6主断面図 S=1:600

地すべり地質の区分 (標準明細による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、礫混じりローム、礫混じり粘土、および硬質粘土・攪乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt ₂ 、岩盤中における粘土状の攪乱部はDc ₁ 、細片～破片状の攪乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₁ 'で表示する。
W ₂	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア(中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock(亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ 'で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア(中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW ₃ 'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状(完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状(完全コア)として採取され、全般的に硬質なもの。

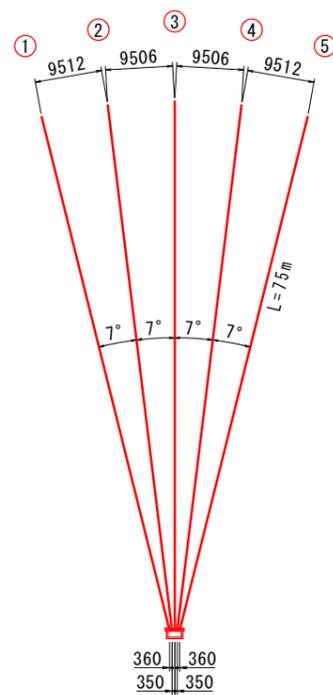


実施設計図面

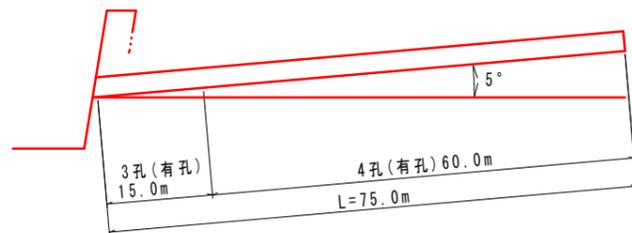
工事名	R3馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地下水排除工事 (1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
工事箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	A-6主断面図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

横ボーリング工構造図-詳細図

配置図 S=1/500



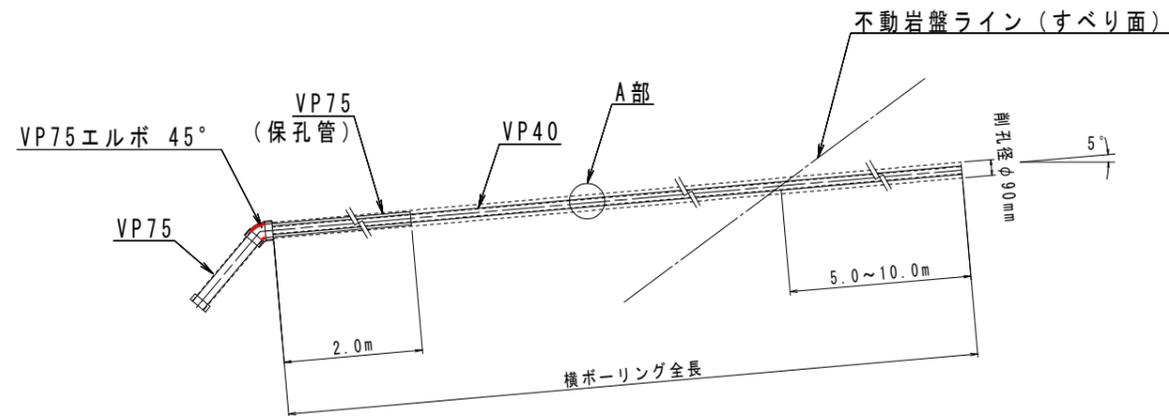
WA6-7, WA6-8



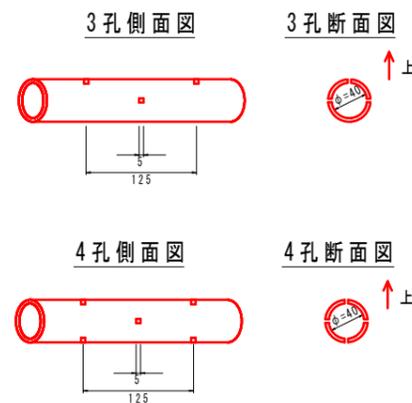
横ボーリング数量表 (m)

孔番号	掘進長 (m)	地質別掘進長 (m)	
		礫混じり土砂	軟岩
WA6-7	375.0	330.0 (66.0*5)	45.0 (9.0*5)
WA6-8	375.0	330.0 (66.0*5)	45.0 (9.0*5)
計	750.0	660.0	90.0

断面図 S=1/20



A部保孔管 (VP40) 詳細図 S=1/4



保孔管数量表 (VP40) (m)

WA6-7	3孔長	15.0*5= 75.0
	4孔長	60.0*5=300.0
WA6-8	3孔長	15.0*5= 75.0
	4孔長	60.0*5=300.0
合計	3孔長	150.0
	4孔長	600.0

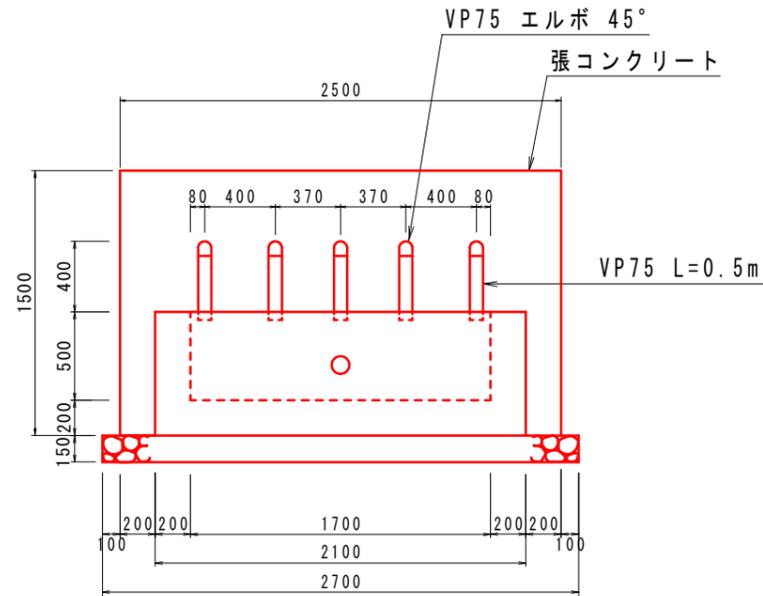
実施設計図面

工事名	R3馬土 谷ロカゲ地すべり 美・木屋平谷ロカゲ 地下水排除工事 (1)		
路線名等	谷ロカゲ地すべり防止区域		
工事箇所	美馬市木屋平谷ロカゲ (第1分割)		
図面名	横ボーリング工構造図・詳細図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

排水処理施設詳細図

正面図 S=1/20

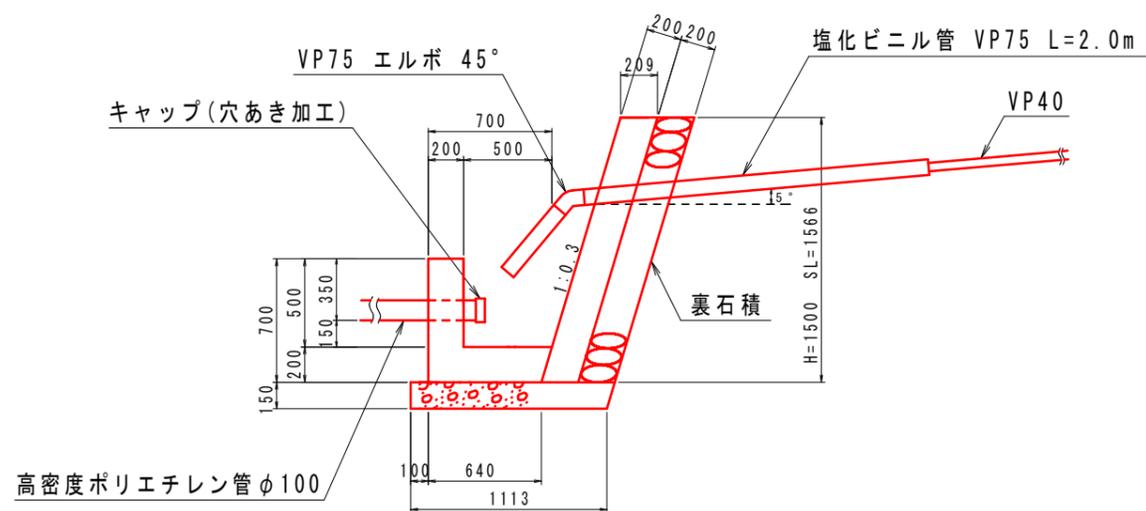
WA6-7, WA6-8



1箇所当たり

種別	算式	単位	数量
張コンクリート	$0.21 \times 1.50 \times 2.50$	m ³	0.79
同上型枠	$1.57 \times 2.5 + 1.57 \times 0.2 \times 2$	m ²	4.55
裏石積	1.57×2.50	m ²	3.93
集水樹コンクリート	$(0.85 + 0.64) \times 1/2 \times 0.7 \times 2.1 - (0.65 + 0.5) \times 1/2 \times 0.5 \times 1.7$	m ³	0.61
同上型枠	$2.1 \times 0.7 + 1.7 \times 0.5 + [(0.85 + 0.64) \times 1/2 \times 0.7 + (0.65 + 0.5) \times 1/2 \times 0.5] \times 2 + 1.7 \times 0.5$	m ²	4.79
基礎砕石	1.134×2.7	m ²	3.06
塩化ビニル管 VP75	$0.50 \times 5 + 2.00 \times 5$	m	12.5
VP75 エルボ 45°		個	5
キャップ	穴あき加工	個	1

断面図 S=1/20



孔口処理工 数量表

箇所	WA6-7	WA6-8	合計
項目	数量	数量	数量
張コンクリート	0.79 m ³	0.79 m ³	1.58 m ³
同上型枠	4.55 m ²	4.55 m ²	9.10 m ²
裏石積	3.93 m ²	3.93 m ²	7.86 m ²
集水樹コンクリート	0.61 m ³	0.61 m ³	1.21 m ³
同上型枠	4.79 m ²	4.79 m ²	9.58 m ²
基礎砕石	3.06 m ²	3.06 m ²	6.12 m ²
床堀	0.7 m ³	0.7 m ³	1.4 m ³
埋戻	0.0 m ³	0.0 m ³	0.0 m ³
塩化ビニル管 VP75	12.5 m	12.5 m	25.0 m
VP75 エルボ 45°	5 個	5 個	10 個
キャップ(穴あき加工)	1 個	1 個	2 個
足場(単管)	7.3 空m ³	7.3 空m ³	14.6 空m ³

排水処理
高密度ポリエチレン管φ100

WA6-7	60 m
WA6-8	30 m
合計	90 m

実施設計図面

工事名	R3馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地下水排除工事(1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
工事箇所	美馬市木屋平谷口カゲ(第1分割)		
図面名	排水処理施設詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		